

9.おわりに

この地震は、兵庫県南部地域を中心として、各種の土木構造物にも想定できなかつた大きな被害をもたらした。その被害は、地震によるものとしては戦後最大の規模となり、「阪神・淡路大震災」と呼称されることになった。

我々は、「阪神・淡路大震災」から多くを学ぶことができ、我が国の土木技術は、新たに大きな課題を与えられた。特に、社会基盤施設が集中する大都市の直下型地震に対する都市防災について多くの課題を浮き彫りにした。

今後は、得られた教訓を謙虚に受け止め、徹底した分析を進め、耐震設計技術の改善、耐震診断・補強技術の開発、ひいては震災時の都市の安全性向上に関する研究を進めなければならない。

平成7年兵庫県南部地震被害調査報告書（土木編）

平成7年4月 発行

編 集

東急建設株式会社	技術本部	技術総務部	
	“	土木技術部	
	“	技術研究所	土木研究部
	“	“	建築研究部
	施工本部	土 木 部	土木工務部
	“	“	土木設計部
	大阪支店	土 木 部	工 務 部

発 行

東急建設株式会社

〒150 東京都渋谷区渋谷1-16-14 渋谷地下鉄ビル

電 話 03-5466-5111（代表）お問合せ先：広報室